

# 令和2年度 学校教育アンケートの結果

令和3年2月17日 吹田市立高野台小学校長 村上 弘明

保護者のみなさま、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

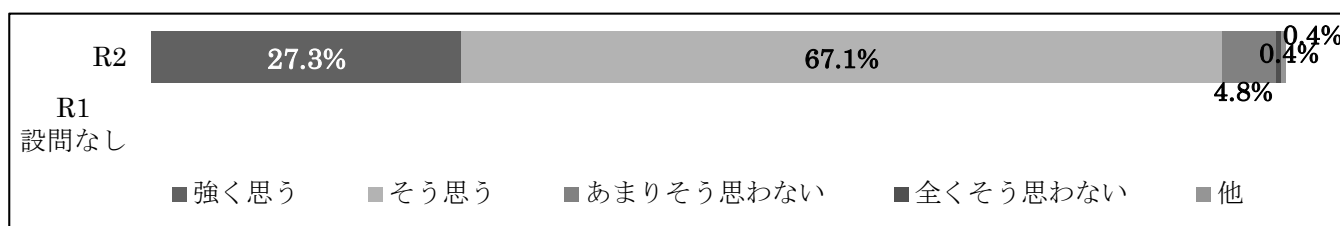
92.4%（回答数 231 名／全児童数 250 名）の保護者の方に回答をいただきました。今年度よりアンケート項目を一部変更しました。令和元年度と比較し集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。

文章記述での一部厳しいご意見もいただきましたが、教職員全体で真摯に受け止め、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、高野台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

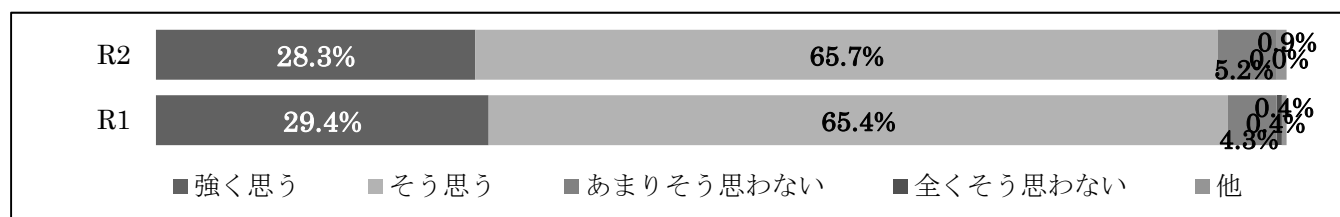
## 【保護者アンケート】

### 1. 学校は、学校だより・学年だよりやホームページ等で教育内容をわかりやすく伝えている。



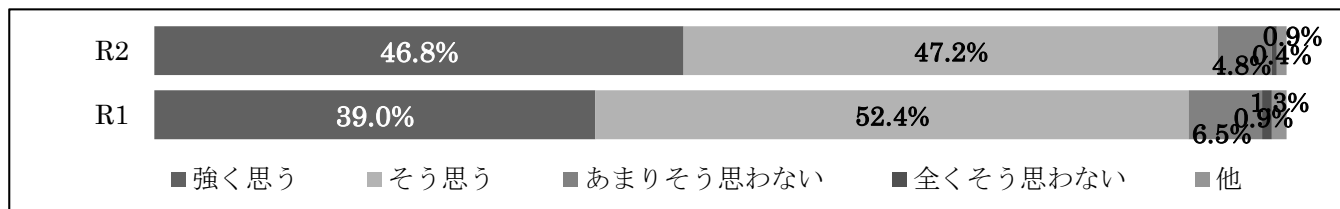
今年度より新たに変更した項目です。休業中や休業後も懇談等の機会がなかなか設定しにくい状況を踏まえ設置した項目です。肯定的な回答の割合は、**94.4%**で、一定の評価をいただけていると考えます。今後も日々の学習や教育活動について発信の充実を図っていきます。

### 2. 本校の学力向上の取り組みは、子どもにとって意義がある。



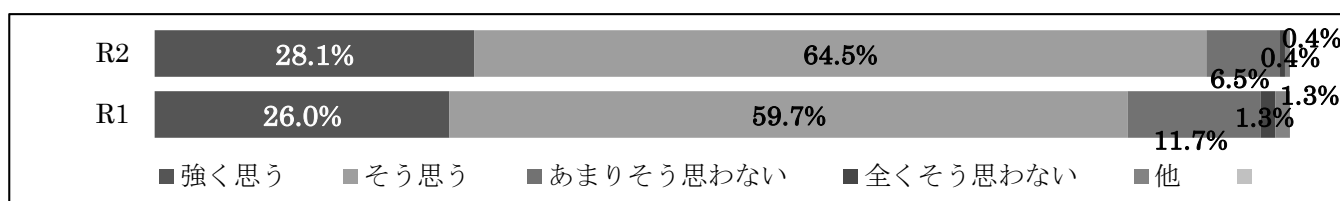
肯定的な回答の割合は、昨年度とほぼ変わりありません。確かな学力の定着や向上をめざした取り組みをさらに進めるとともに、取組内容について各家庭への周知と理解、協力を得られるように努めます。

### 3. 子どもは、楽しく学校に通っている。



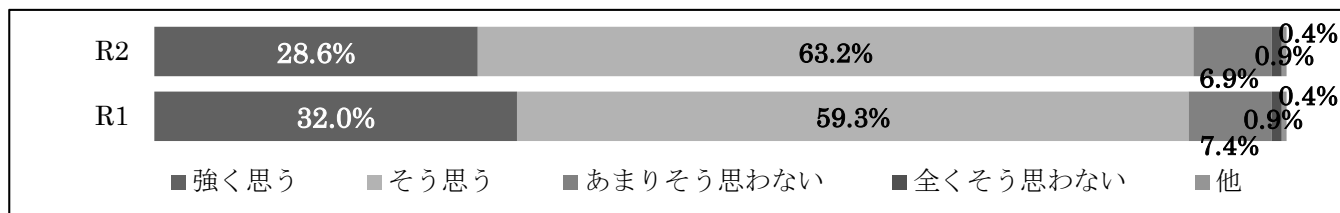
肯定的な回答の割合が **94.0%**と昨年度の割合を超えています。長かった臨時休業による子どもたちの学校生活を求める気持ちの現れが影響しているように思われます。今後も、日々の学校教育活動を一層充実させ、よりよい人間関係を築けるよう子どもたちの意識を高めていきたいと考えます。

### 4. 学校は、楽しくわかりやすい授業に力を入れている。



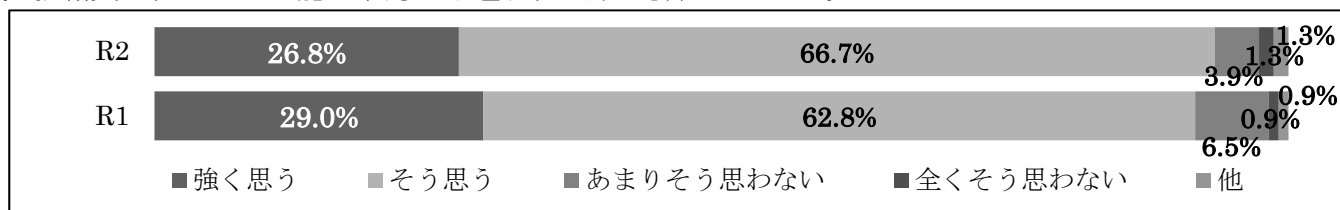
肯定的な回答の割合は、昨年度に比べずいぶん改善されています。今年度は、密を避けるために取り組みにくかった学習活動もありましたが、工夫により補いました。今後も、教員の授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

### 5. 教職員は、子どもを理解している。



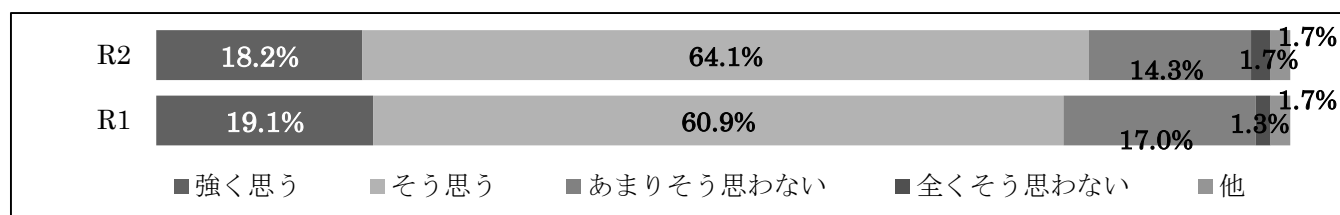
肯定的な回答の割合は、昨年度とほぼ変わりありません。家庭と連携しながら、教職員がていねいに子どもたちを見取るとともに、より理解を深めていきたいと考えます。

### 6. 教職員は、子どもの能力や努力を適切、公平に評価している。



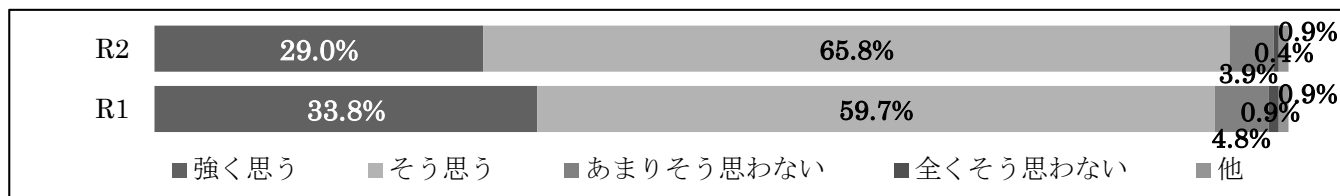
肯定的な回答の割合が **93.5%** で、昨年度よりも上がっています。子どもたちと向き合い理解を深めるとともに、学習状況や学校生活の様子などを適切に家庭と共有していけるように努めます。

### 7. 「あゆみ」は、子どもの学校生活の様子や学習の理解度がわかりやすく表されている。



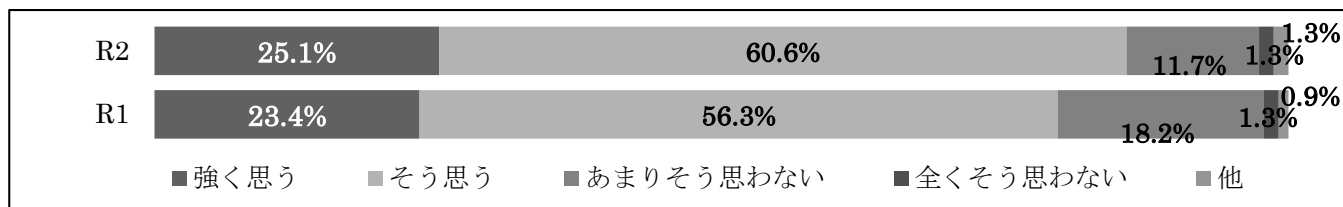
今年度、新学習指導要領のスタートに伴い、「あゆみ」（評価）の大幅な改訂を行いました。にもかかわらず、肯定的な回答の割合は昨年度よりもやや上がりました。ただ、他の項目と比べて、否定的な回答の割合も **17.7%** と高めです。今後も、「あゆみ」（評価）の見方や規準について、資料をより分かりやすく充実させるとともに、学年だよりや学級懇談等を通じてお伝えしていきます。また、評価の規準を子どもが理解することで、自身の課題の克服につながるように努めます。

### 8. 運動会、校外学習、林間学習、修学旅行などの学校行事は、積極的に活動できるように、工夫されている。



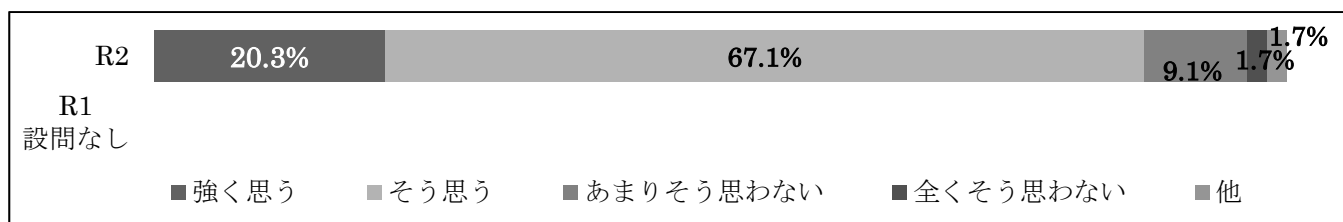
肯定的な回答の割合は昨年度に比べ **94.8%** と高くなっていますが、昨年度と比べ、「強く思う」の割合が下がっているのは、コロナウイルスにより中止や縮小を余儀なくされた行事もあり、それが関係していると思われます。学校行事については大きな教育的価値のあるものだと考えておりますので、保護者・地域の理解や協力を得ながら、実施時期の見直しや内容の精選・工夫改善に努め、児童が意欲的に取り組めるように検討していきます。

9. 学校は、家庭への連絡や意思疎通等、きめ細やかな対応をとっている。



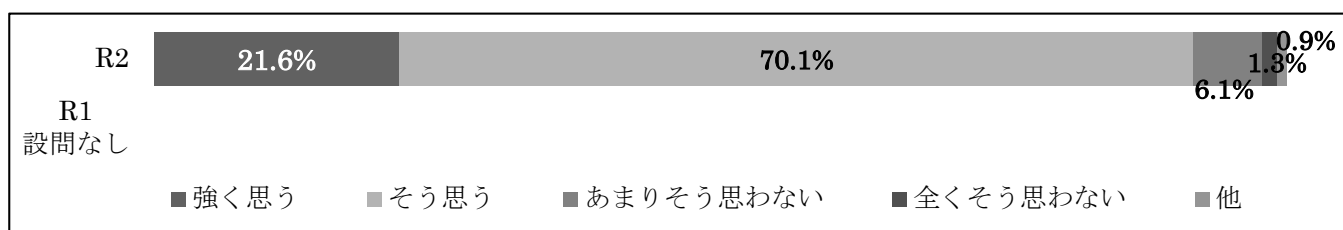
休業や懇談等の機会の減少もあり、家庭への連絡や意思疎通については、よりていねいな対応を心がけようとしています。今年度肯定的な回答の割合が増えたのは、取り組んできたことに一定のご理解をいただいていると考えております。ただ、他の項目に比べ、肯定的な回答の割合は高くないため、今後、より適切かつ細やかな対応に努めていきます。

10. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。



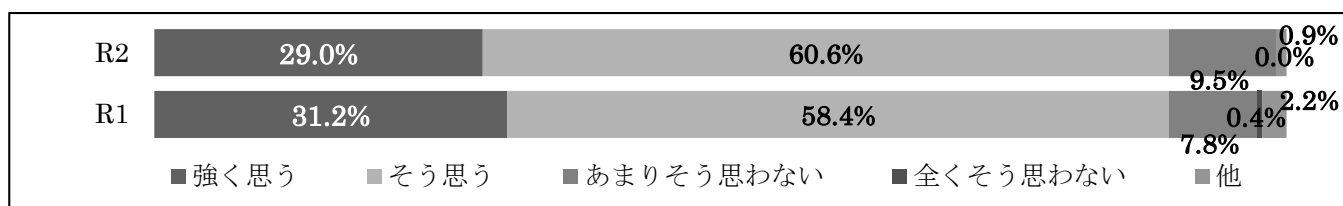
今年度より新たに変更した項目です。今年度から、全市的にも「いじめ予防授業」がスタートしました。今後、一層いじめのない学級・学校づくりに取り組み、項目についても経年変化を見ていきます。

11. 学校は、きまりを守る態度を育てようとしている。



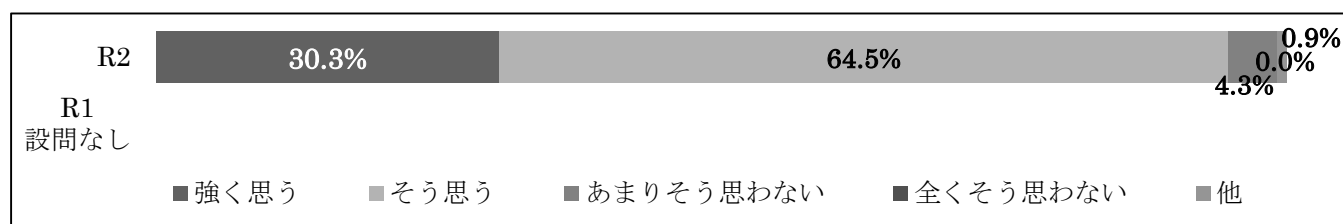
今年度より新たに変更した項目です。規範意識の醸成という点から設定した項目です。肯定的な回答の割合が91.7%と高くなっており、今後もきまりを守る態度の定着を図っていきます。

12. 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。



今年度は可能な範囲での実施にとどまりました。今後も、できるだけ子どもたちの学習の様子を参観いただけるように、学校行事の実施時期などを検討していきます。

13. 学校は、地震や台風等の災害時や緊急時の行動について、子ども・保護者に伝えている。



今年度より新たに変更した項目です。近年、台風などの自然災害に係る緊急的な対応が求められています。今年度は全校規模での避難訓練は実施できず、学級ごとの訓練にとどまりました。迅速かつていねいな対応に努め、反省点や課題を検証していきます。

## 【保護者アンケート記述欄について】

保護者のみなさまからの温かい言葉、そして、ご意見やご指摘をいただき、感謝いたしております。すべてのご意見に回答をできておりませんが、保護者のみなさまの貴重なご意見を真摯に受け止め、本校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。子どもたちが心豊かで健やかな成長を促すことのできる学校体制づくりを進めるためにも、学校、地域、すべての保護者のみなさまで高野台小学校のすべての児童を見守っていきたく思います。

◇勉強ばかりになり過ぎず、様々な取り組みをして下さっており、毎日楽しく通学・学校での生活を送っています。

◇子どもたちのことをよく見ていただき感謝しております。難しくなっている年頃なので親だけでは判断しきれない場面もあり、助かっております。ありがとうございます。高学年でもこのような対応をしていただけるよう希望します。

◇すべての先生方が優しく接して下さっていると思います。

◇コロナで大変だと思いますが、今後もお体に気をつけ、よろしくお願ひ致します。

担任をはじめとする教職員に温かいお言葉をいただきました。教職員一同、活力として子どもたちに返していくとともに、今後も一層のご期待に応えられるよう、努力を続けていく所存でございます。

以下に、項目ごとに主なご意見を挙げております。項目ごとに学校としての考えを総括的に記述いたします。

### <ICT>

- ・今年度のコロナ禍で長期の休業に対しては、ICTの活用が重要だと強く思いました。
- ・パソコンやiPadを校舎玄関におくのはよくないと思う。

GIGAスクール構想により、本校にも児童用iPadが12月に納入されました。子どもたちが卒業するまでの間、1台ずつ貸与されます。令和2年度は「慣れる」ことを目標に、授業の中で活用します。保管場所については、当初、スペースの問題から、教室外での保管で試行してみましたが、セキュリティの問題もあり、スペースを取りますが、教室保管することにしました。

### <教室環境>

・夏のクーラーの温度設定が高すぎて、ついていても子どもたちが汗をかいて暑そうにしているのが気になりました。特に図書室が暑いと子どもから話を聞いています。できればもう少し過ごしやすい温度設定にしてくださいと集中力も上がってありがたいです。

今年度はエアコンを運転しながらも換気を優先しましたので、エアコンの効きにくい状況があったと思われる。図書室を含む特別教室のエアコン設置がされることになり、令和3年度の夏休み期間の完了をめどに設置工事が行われます。2学期からの運用開始予定です。

### <クラス数・教職員配置>

・クラスの人数が大変多く、コロナ対策の面、先生の負担の面を考えると、せめて1クラス30人程度にして頂きたいと思ひます。

- ・3年生の1クラスの人数が多すぎます。2クラスに分けて下さい。密ですし先生の目が行き届きません。
- ・支援学級の先生の増員と充実させていただきたいです。

公立学校のクラス数と教員の数は、学校に在籍する児童の数によって、法に基づいて決定されており、本市の場合は、法律に基づき大阪府が配置します。つまり、学校に在籍する児童の人数によって、教員の数が決まり、クラス数が決まります。法律の規定では、40人までは1クラスで、41人を超えると2クラスという計算になります。また、1・2年生は1クラス35人となります。ただし、これは通常学級に在籍する児童の規定なので、支援学級の子どもの数を含めて考えられてはいません。支援学級には支援学級の教員が配置されるからです。このように、基本的にクラス数は児童の在籍数で決定されており、毎年お願ひしている在籍見込み調査の数が基になっています。

### <学校行事>

- ・コロナ禍の中で例年通りの取り組みは難しい中、林間学校、運動会など実施していただけたことを有り難く思います。限られた条件のもと、考え、工夫することは子ども達にとって良い学びになったと思います。
- ・コロナが落ち着くまでは、学校行事も無理して行わなくてもいいと思います。プールや旅行などは正直不安です。
- ・仕事と子育てを両立するのは、ひとり親としてはやはり学校行事が平日にあると参加が難しい。運動会も見に行くことが出来ずとても残念に思っております。PTAも時間的に参加も無理なのでお手伝いできなくて申し訳ない気持ちでいっぱいです。

コロナ禍での学校行事については、上記のように両方の意見をいただきました。学校としては、行事の教育的価値を考え、感染症対策を取りながら、可能な限り実施していく方向で考え取り組んでまいりました。今後も子どもたちが、意欲的に粘り強く取り組めるように、学校行事の内容の工夫改善を図っていきます。また、今年度は、授業時数の確保や密を避けるという点から、運動会は平日開催で行いましたが、今後は、休日開催に戻していく予定です。

### <参観、懇談会等>

- ・個人懇談をもう少し早い時期で行っていただければ良かったと思います。コロナ禍で調整が難しかったのかとは思いますが、1学期も機会がなく、2学期の終わりでの懇談。参観も一度だけでしたし、学校での様子が分からず親としては不安な面も感じました。
- ・授業参観の時間が少ない。年間行事がないのがどうかと思う（1ヶ月前、2ヶ月前に言われても仕事の都合がつかない）

今年度は、参観、学級懇談、個人懇談、結果的に各1回の実施となってしまいました。全市的に1学期中の学校行事を見合わせることで、保護者と担任が話す機会が11月の個人懇談になってしまいました。学校としても、年度初めの時期に家庭訪問等保護者の方と話す機会を持つことの大切さを再認識しました。次年度の年間行事作成に活かしたいと思います。また、懇談等の時期にかかわらず、気になることなどありましたら、遠慮なさらず学校までご相談ください。

### <子どもへの指導について>

- ・個人懇談会の時に、担任より悪い所を先に話され、良い所はさらっと話された。子ども個人の努力は褒める様にして頂きたい。担任が発する言葉もマイルドにして欲しい。
- ・小さい学校のメリットである、子ども一人ひとりに向き合った関係が残念ながら校長先生、教頭先生にはないようです。以前の先生たちは違いましたので、子どもたちはよく見ています。たとえば、代理授業での威圧的な態度など。教職員の管理はしても、子どもを授業で「管理」する必要はないと思います。少ないふれあいの機会に「うちの校長先生、いいで」と言わせてやって欲しいです。
- ・しっかり子どもの話、その前に起こった出来事もしっかり聞いて欲しい。誤解されたり、なぜその様な話になるのか理解出来ない事もあります。同じ時に同時に話を聞いて欲しいです。

子どもたち一人ひとりを見取り、ていねいな指導に努めます。指導の形態や方法については、それぞれのケースに応じて最適と思える方法を選びますが、子どもたちが納得し心に響くように心を尽くし言葉を尽くしたいと考えます。子どもたちとの信頼関係を大切に、的確に褒め、的確に叱るよう努めます。

### <学年だより・学校だより>

- ・学校だより、学年だよりを月末最終日に持ち帰ることが多いですが、もう少し早めに配付して頂けると、予定の確認ができてありがたいです。
- ・学校だよりや学年だよりがHP上で見られるのがとても便利だが、防犯上の観点からかもしれないけれど、過去のものしかUPされない。もし保護者のみ閲覧できるように最新のものが見られるととても使いやすいと思います。

行事予定については、できるだけ変更の無いよう、最終決定が済んでからの掲載にしております。本校の場合、毎月後半から下旬にかけての職員会議で詳細が決まってくる行事があり、学校だよりの発行はどうしても月初になってきます。年間行事予定については、今年度は4月の段階では休業中であり、予定は白紙状態でお知らせできるものではありませんでしたが、年度初めの学校だよりで1年間の主な予定をお伝えしますので、保管してください。学校だよりの行事予定欄では、翌月の大きな予定についても掲載するようにします。HPは広く目にしてもらおう目的もありますので、特性を踏まえて情報発信に活用していきたいと考えます。

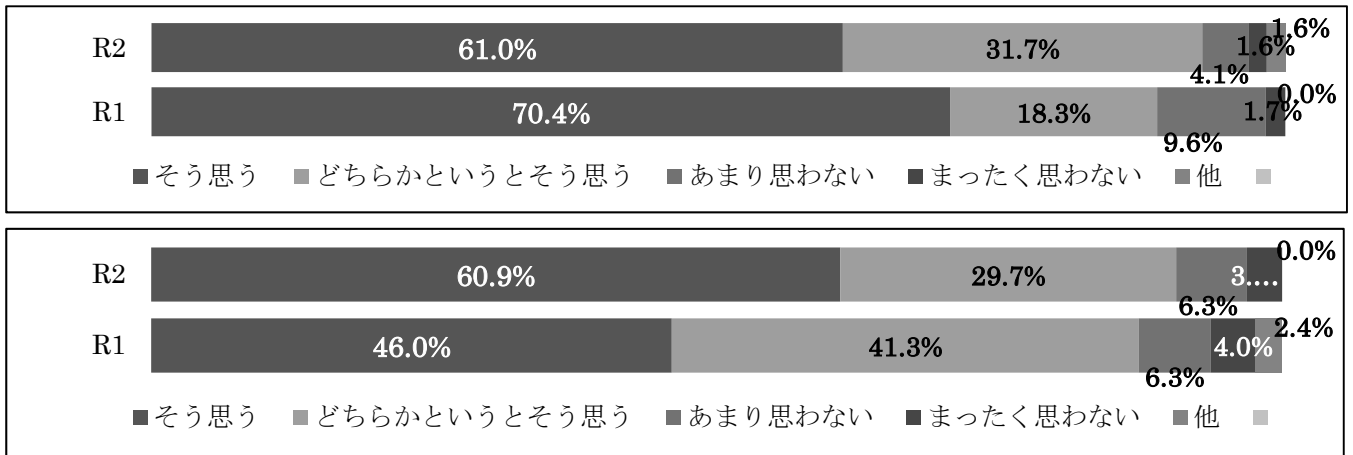
### <課外クラブ>

- ・課外クラブ活動の活動日数・時間を増やしてほしい。課外クラブの数を増やしてほしい。
- ・今年度はコロナの影響でたくさんの行事が減っている中で工夫して運営されていると思いますが、子どもたちが頑張っていた課外クラブの活動は他校と比べて縮小された活動内容で残念に思いました。

今年度は日数や人数を含めた課外クラブの活動そのものが限定・縮小した活動にならざるを得ませんでした。今後も状況を見ながら活動内容を検討していくことになります。クラブの数については、現在いる教職員の中でどんなクラブなら実施することが可能かということ、毎年度初めに教職員で話し合っ

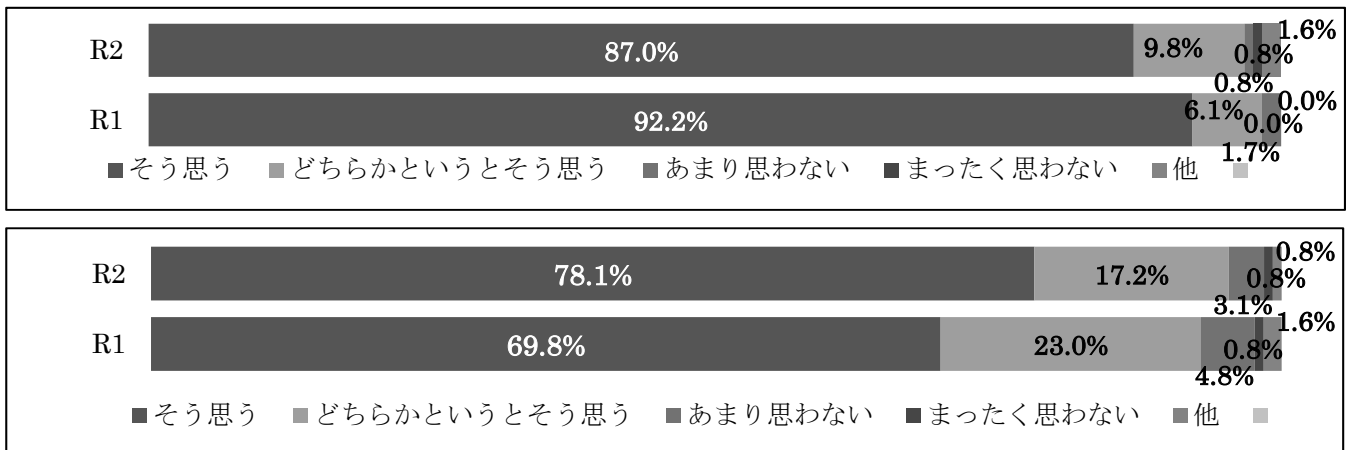
【児童アンケート】上表：低学年（1～3年） 下表：高学年（4～6年）

### 1. 学校へ行くのが楽しい



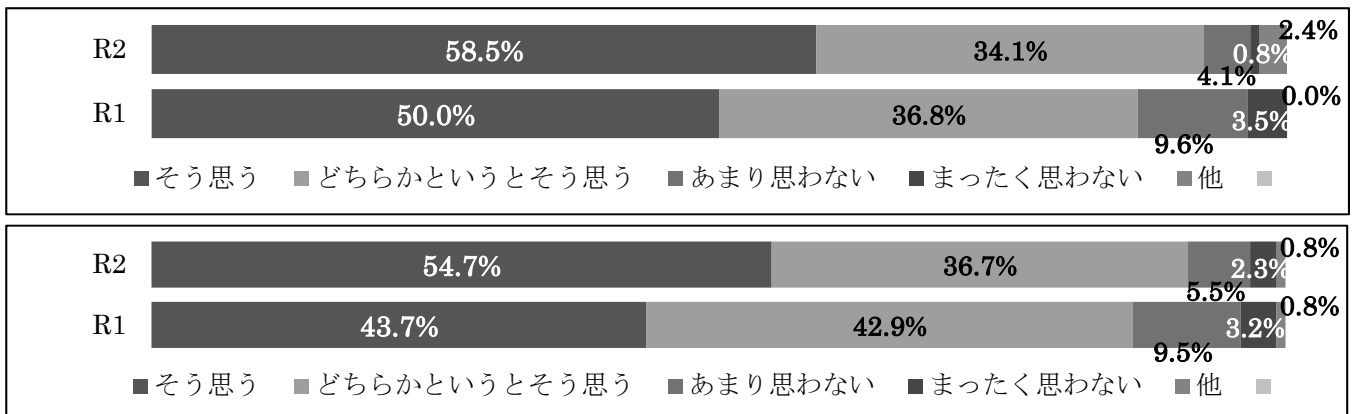
肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ、低学年も高学年もやや上がり、90%を超えています。今後も学校教育活動を充実させ、子どもの学習意欲を高め、よりよい人間関係を築き、よりよい学校生活を送れるように取り組んでいきます。

### 2. 運動会や遠足などの行事は楽しい



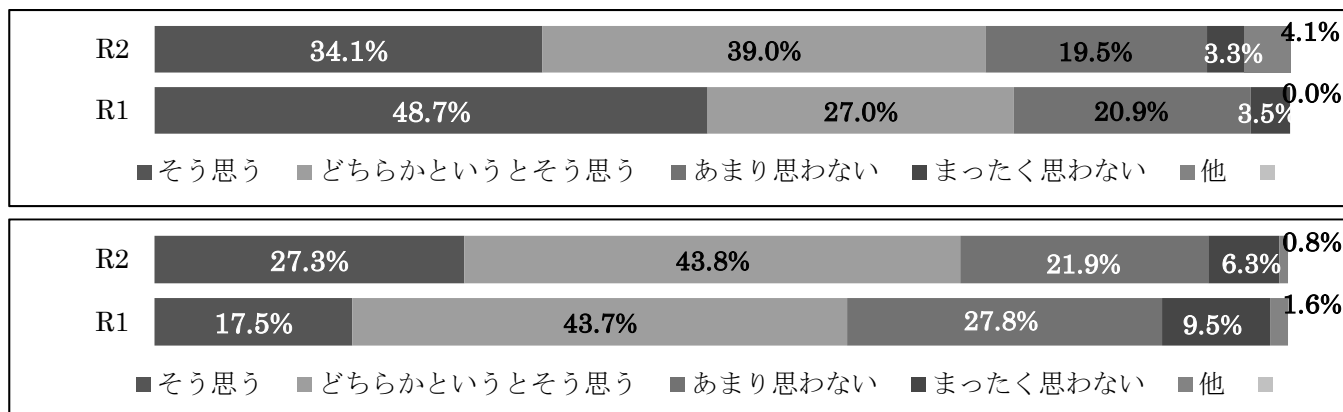
低学年は肯定的な回答の割合が昨年度よりやや低くなり、高学年については、やや高くなっています。今年度は中止や縮小になった行事がありました。子どもたちが意欲的に運動会や遠足等の学校行事に取り組めるように指導支援していきます。

### 3. 先生は自分がかんばったことを認めてくれる



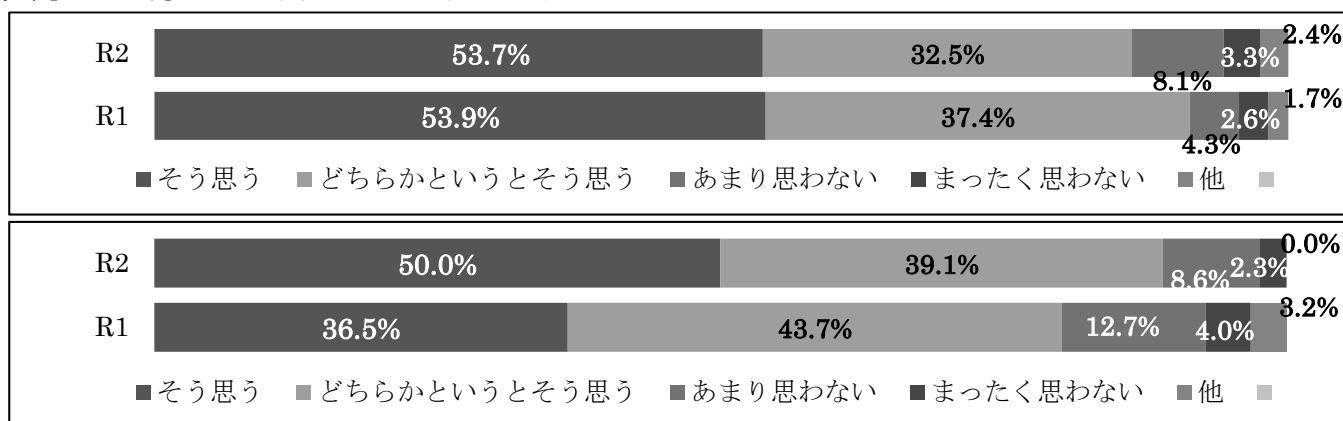
肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ、低学年でも高学年でも90%を超えています。今後も、子どもたち一人ひとりをていねいに見取り、的確に褒め、自尊感情や意欲を高められるように努めます。

#### 4. 先生には何でも相談できる



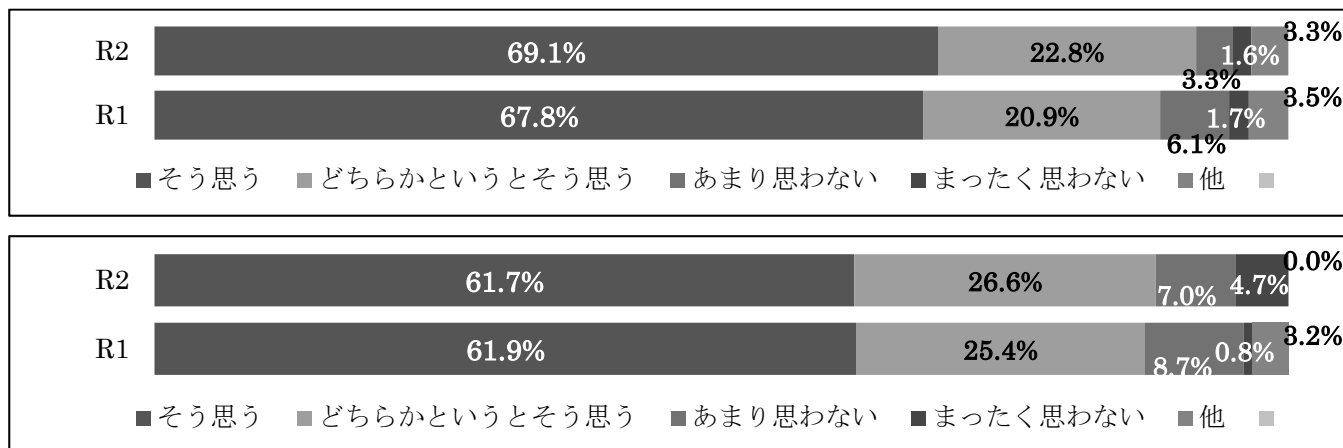
低学年では、肯定的な回答の割合が昨年度よりやや下がり 73.1%に留まっています。しかし、高学年では、肯定的な回答の割合が昨年度から 10%も上がって 71.1%になりました。どちらも高い数値とは言えず、子どもたちとの信頼関係を保ち、担任に限らずどの教職員にでも相談できる環境づくりを進めるように努めます。

#### 5. 先生は自分のことをわかっている



低学年では、肯定的な回答の割合が 5%下がり、高学年では肯定的な回答が約 10%上がりました。結果、高学年の方が肯定的な回答の割合が高くなっています。今後も、さまざまな場面での子どもたちへのきめ細かな見取りや対応を行い、信頼関係を高めるように努めていきます。

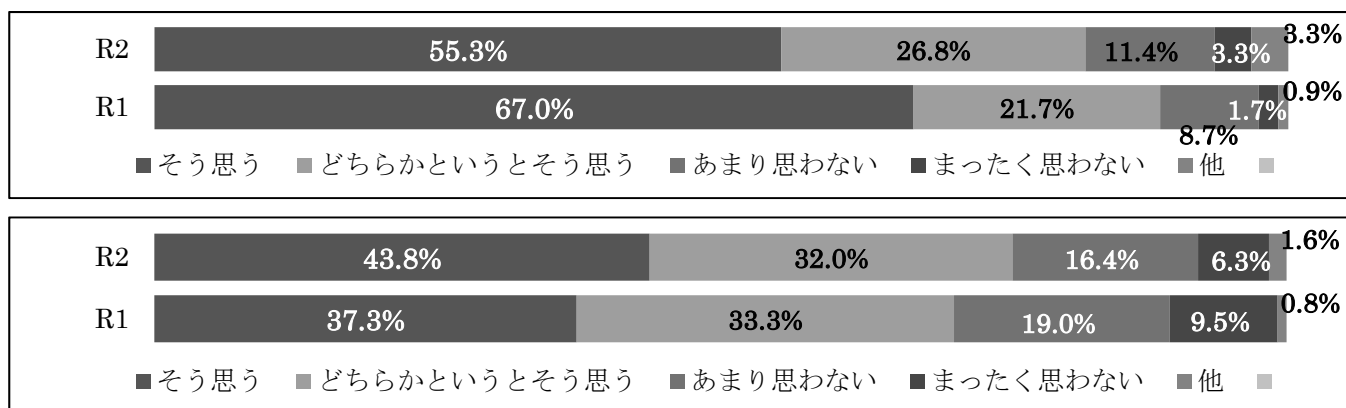
#### 6. 授業はわかりやすい



低学年でも高学年でも、肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ少し上がり、低学年では、肯定的な回答の割合が、91.9%と 9 割を超えています。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなることや既習内容の定着が学習理解につながることも踏まえ、授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

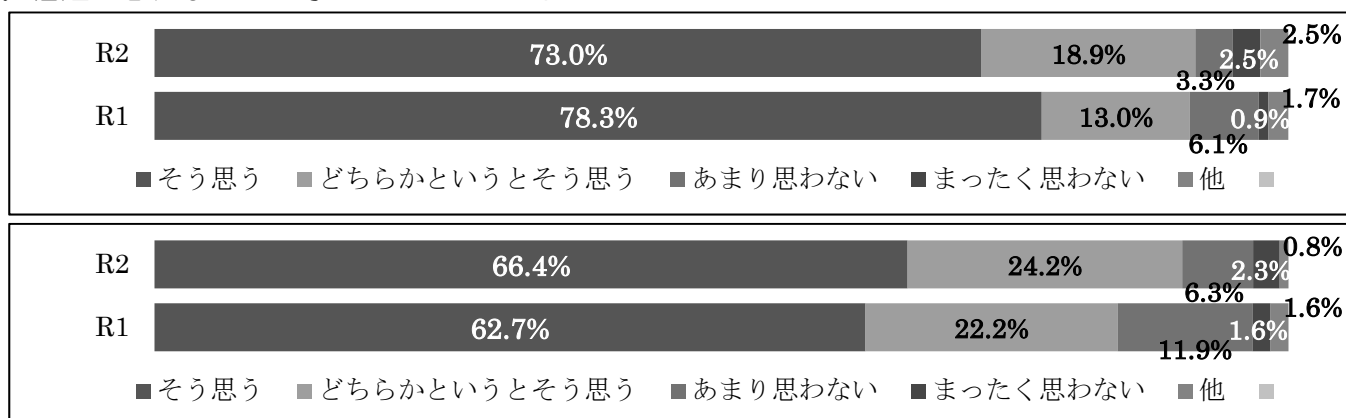


## 7. 早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている



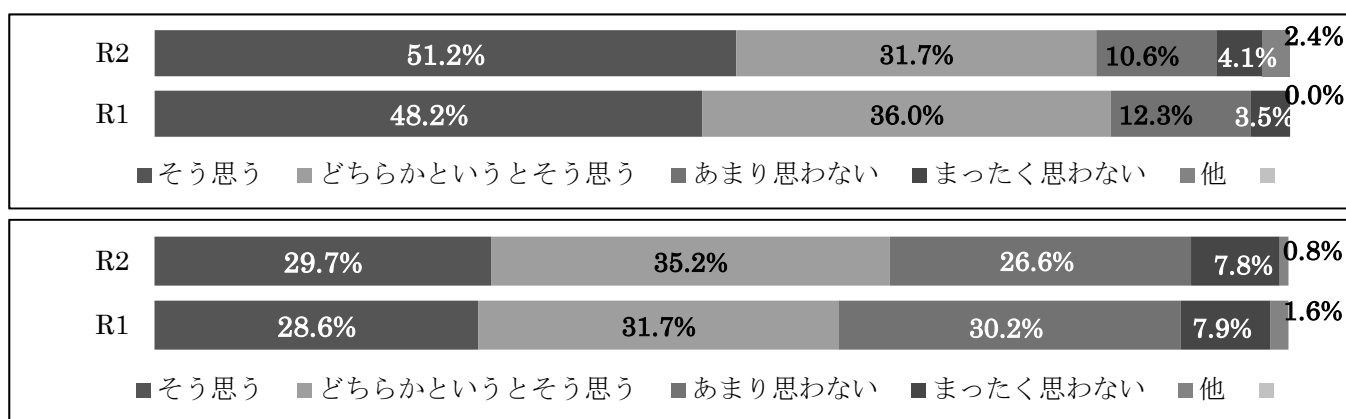
肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ、低学年では6%下がり、高学年では5%上がっています。特に低学年での相当数の児童が、生活リズムが整えられていないようです。規則正しい生活を送ることは、心身の健全な成長に大きく影響します。学校でもよりよい生活習慣や規則正しい生活の大切さについて啓発していきたいと考えます。

## 8. 宿題は忘れないよう毎日がんばっている



低学年でも高学年でも、肯定的な回答の割合が、90%を超え改善されています。今後も家庭学習の習慣化を図れるよう、家庭と協力して指導支援していきます。

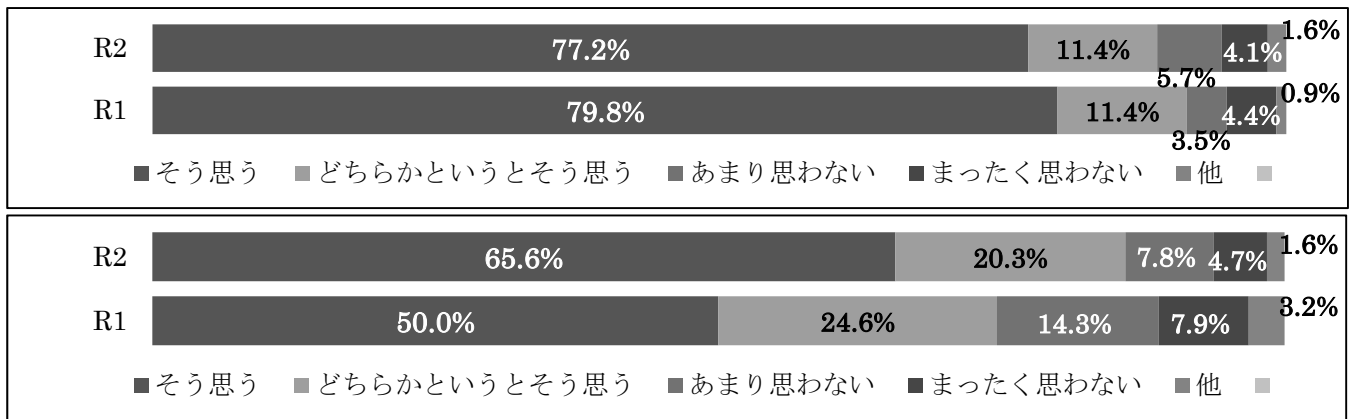
## 9. 授業はよく考え発表しようとしている



低学年の肯定的な回答の割合が8割を超えており、自分の考えを伝えようとする姿勢が育ちつつあります。否定的な回答の割合がまだ約17%あります。対して高学年では肯定的な回答の割合がやや上がりましたが、否定的な回答の割合が35%もあり課題である。

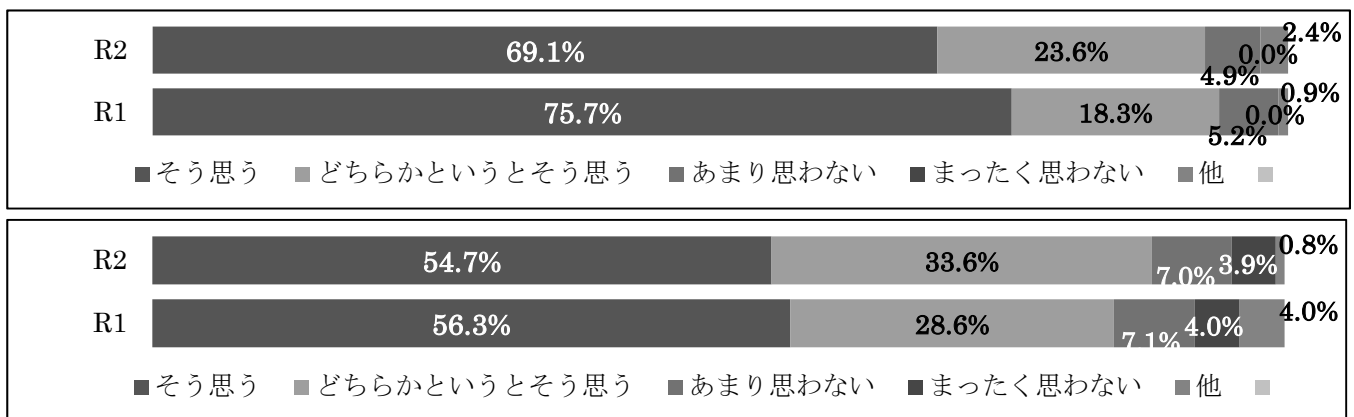
教育活動のさまざまな場面で、個々の子どもに応じて継続して働きかけることで、自尊感情を高め、自信を持って学習活動に取り組めるように促していきます。

## 10. 本を読んだり、読んでもらうのが好きだ



低学年・高学年ともに肯定的な回答の割合が、85%を上回っています。特に高学年では「そう思う」の回答の割合が、15%以上増えています。今年度は休業期間等が読書に親しむ機会になったのかもしれませんが。読書習慣は学力にも影響します。図書的时间、学校図書館の有効な活用や読書の楽しみを感じることのできる取り組みを進めていきたいと考えます。家庭でも読み聞かせや読書の機会を増やすようにしてください。

## 11. 問題をとくとき、あきらめずにがんばっている



低学年の肯定的な回答の割合が、昨年度に比べやや下がっているが、高学年では肯定的な回答の割合が、昨年度に比べやや上がっている。しかし、否定的な回答の割合が、依然10%を超え課題があります。低学年でも、「そう思う」の回答の割合が6%下がっているのが気になります。根気強く問題に向き合うことを学び、考えを深めることや達成感を味わうことができるように、授業改善、指導支援を行っていきます。

### ◇児童アンケートの結果から

- \*概ね肯定的な回答の割合が高くなっています。
- \*質問項目によって差異がありますが、昨年度に比べて、低学年では肯定的な回答の割合が下がった項目が多く、高学年では肯定的な回答の割合が上がった項目が多く、改善に向けて教職員が共通認識を持って子どもたちの指導支援に取り組んでいきたいと考えます。
- \*生活規律、学習規律の確立をめざし、教育活動全般を通して道徳性を養い、規範意識の醸成を図ります。
- \*自分の考えや思いを伝えることやコミュニケーションが苦手な児童がいます。教育活動全般を通してコミュニケーション力を高める機会を増やし、子ども自身がよりよい人間関係を築こうとする意識醸成を図り、よりよい学級集団づくり、学校づくりに努めたいと考えます。
- \*自分の考えや思いを発表する機会を充実させて、間違ってもそれを認められ、安心して伝えることのできる集団づくりを進めます。
- \*相手の気持ちに寄り添い受け止めることができる子どもを育むため、日々の学習活動や集会などを通して、傾聴力、「目（相手を見て）と耳（耳をすませて）と心（相手の気持ちを思いながら）で聴く力」を培っていききたいと考えます。